



一般社団法人 日本LD学会

会報 第79号

Japan Academy of Learning Disabilities

【事務局】 〒320-0043 宇都宮市桜 3-1-6 吉田ビル 2F
TEL.028-666-0533 <http://www.soc.nii.ac.jp/jald/>

主な記事

<特集>

第20回大会報告

<連続講座>

今、改めて「連携」を問う

<お知らせ>

第21回大会・公開シンポジウムについて



副理事長就任のご挨拶

一般社団法人 日本LD学会 副理事長

柘植 雅義

(国立特別支援教育総合研究所)

6月26日に開催された法人の社員総会（代議員会）を経て、副理事長に就任しました。

本学会は、平成4年に研究会として設立されて以来、着実な成長を遂げてきました。そして、平成21年には一般社団法人としてより開かれた現代的な形になり、現在では7000人を超える学会に育ちました。この領域の学会としては最大規模です。

本学会は、非常にユニークな学会です。何よりも学際的で、教育、心理、医療、福祉など、多彩な学問分野を背景にした会員から構成されていますし、職種も多彩で、研究者、実践者、専門職の他、行政職、保護者など、となっています。また、研究や実践の対象年齢も、就学前から、学齢期、高等教育段階、成人などとライフステージを漏れなくカバーしています。全国LD親の会との連携も大きな特徴です。もはや、米国のLDA（Learning Disabilities Association of America）に肩を並べても遜色ないほどになりつつあると言ってよいかもしれません。

しかし、これまでの栄光に縋っているわけには

いきません。“現状維持は退歩”と言われるように、常に、時代の変化、会員のニーズの変化などを踏まえて、進化し続ける勇氣と活気ある組織でなくてはなりません。来年の平成24年には設立20周年という節目を迎えます。

そのために、改めて『魅力あふれる学会』と『影響力のある学会』を標榜したいと思います。この学会に是非入ってみたい、大会に参加してみたい、活動してみたい、そして、何か心地の良い学会だ、という魅力あふれる学会に。一方で、学術研究をリードし、学校等における実践をリードし、国や自治体への政策提言を展開し、さらに国際的にも認知される、という影響力のある学会に。

最後になりましたが、上野一彦理事長を支え、竹田契一副理事長から学び、会員の声を大切に、本学会が道を間違わないように、さらに豊かな学会に育っていくように、微力ながら尽力したいと思います。この学会が何をしてくれるか、を問うばかりではなく、この学会をどう育てていくかについて、一緒に考え、行動していきましょう。